

Medical Management Specialist MMS NEWS

2013 4月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F 編集/日本医療企画 毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

医療経営士2級・3級資格認定試験

6月試験に向け受験エントリー開始 1級資格認定試験の概要も公表

一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事:吉原健二)では、4月3日より、6月16日実施の第5回医療経営士2級・第9回3級資格認定試験の受験エントリーを開始している(エントリー締め切り:5月2日)。4月10日現在のエントリー状況と合わせて、4月8日公表の医療経営士1級資格認定試験の概要についてお伝えする。

開始から1週間のエントリー状況は 過去最多の前回試験を上回る勢い

第5回医療経営士2級・第9回3級資格認定試験に向けた受験エントリーがスタートした。エントリー開始1週間(4月10日現在)でのエントリー数は、2級が71人、3級が228人となっている。昨年10月以降の試験となる2級試験は前回の受験者総数146人(申込者数157人)を超える勢いを見せており、また3級試験に関しても853人(申込者数914人)が受験し過去最多となった前回の第8回試験(2月実施)を上回る数字となっている。第8回試験では過去2番目に低

い合格率(31.9%)となったことで、合格への不安から受験を迷う方が少なくないのではないかという予想もあったが、医療機関をはじめ、医療関連企業、金融機関等から満遍なくエントリーが寄せられている状況からは、医療経営士の資格取得を目指す方々の裾野が広がっていることが読み取れる。その背景には、医療経営の現場における医療経営士の活躍があると考えられる。メディカルスタッフと共同して組織全体の意識変革に乗り出したり、医療機関に対して積極的な

提案ができるようになったりと、それぞれの現場での活躍ぶりは当協会のホームページ(http://www.jmmpa.co/)や会報誌『理論と実践』でも報告してきたが、医療機関や関連

企業、金融機関等において、その活動が認められ、評価されてきていることが、医療経営士という資格への期待となり、受験生の増加につながっているものと思われる。今回の受験生の方にも、合格することを目的とするのではなく、その先の実践活動までを見据えて試験に臨むことが求められる。

医療経営士1級試験の概要発表 第1回第2次試験は9月に東京で実施

4月8日(月)、医療経営士1級資格認定試験について、その概要を協会ホームページ上に掲載した。詳細はホームページを参照していただきたいが、受験から認定登録までの大まかな流れとしては、第1次試験、第2次試験および資格認定審査を行い、資格認定審査を通過し、「医療経営士1級」登録(等級変更)を行った者が、本協会認定医療経営士1級となる。資格認定審査の審査要件については、「現に3年以上、医師・看護師・薬剤師・医療経営士等有資格者として医療機関に勤務していること」という要件が設けられた。第1次試験は9月8日(日)に実施、受験エントリーは7月5日(金)から開始される。

2013年度 医療経営士2級・3級資格認定試験日程

Table with 3 columns: Exam Name, Exam Entry Period, Exam Date. Rows include 5th/9th, 6th/10th, and 11th exams.



2月に行われた第8回3級資格認定試験の様子

第5回「医療経営士2級」資格認定試験直前 ポイント整理講座 東京・大阪・福岡で開催!!

「医療経営士2級」講師によるポイントを絞った講義で、合格のための秘訣を伝授!! 難関試験突破に向け2日間集中で、出題範囲の「重要ポイント」を重点的に学習する講座を開催します。

本講座の3大ポイント

- ①「医療経営士2級」に求められる全体像・重要ポイントを理解でき、試験対策にとどまらず日常業務に役立ちます。
②単元ごとに確認テストを実施します。ポイント解説+「確認テスト」で知識の定着を図ります。
③出題傾向を予測した予想問題集(各分野50問)付き!!

Table with 4 columns: Location (東京会場, 大阪会場, 福岡会場), Date, Venue, Instructor, Fee.

カリキュラム詳細は、ホームページをご覧ください。http://www.jmp.co.jp/gakuin/class2/

*内容、会場は都合により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

問い合わせ: 株式会社日本医療企画 教育・出版事業本部(担当: 三浦 ☎03-3256-2863)

地域支部(関東、関西、北陸、九州)

2013年度研究会活動スタート!

日本医療経営実践協会の各支部では、4月から、2013年度の研究会を始動した。研究会活動は、会員特典の目玉でもある。研鑽の場として、また、会員同士の輪を広げる機会として、ぜひ積極的にご参加いただきたい。

会員を主体とした 会員のための研究会

医療経営士は「現場」と「実践」を重視した資格であり、会員の経営実践力を高めることを目指している。その一環として、研究会活動には特に重きを置いており、その運営主体として地域支部の果たす役割は大きい。

各支部ではこれまで、「医療規制」「医療改革」といった大局的テーマから、「職員満足度調査の手法」「外来待ち時間対策」「勤務医の負担軽減」といった現場の業務改善に資するもので、さまざまな研究会を開催してきた。

2013年度の研究会は、会員の要望を反映した企画が多く見受けられる。これは、協会発足から3年を経て、「会員を主体とし

た、会員のための研究会」としての方向性が確立されつつあると言えるのかもしれない。

支部それぞれ 特徴ある取り組み

関東支部では「来年度の診療報酬改定に、どのように取り組んでいくべきかを知りたい」という会員からの要望を受け、4月に「医療経営士資格認定試験合格者の集い」と合わせて、「2014年診療報酬改定にむけて」と題する研究会を行った。今後も改定実施に向けて、会員の知りたいことに応えられる研究会となるよう、段階を追って実施していく予定である。

関西支部では、1月に開催した講義十グループワーク「財務会計(前編)」の参加者から「会計については素人

だが、財務諸表くらいは読めるようになった」という声が寄せられたことから、急ぎょ2~7月の全6回予定で、財務会計の基礎を学ぶ「梅原塾」を企画し、好評を博している。

北陸支部は、合宿型研究会や視察旅行など、地域を飛び出した活動が特徴的であり、会員同士の結束も強い。今期も7月に視察旅行を開催する予定である。講義+質疑応答という従来型の研究会とは異なる新しいスタイルとして、他支部も注目している。

九州支部の研究会のラインナップは充実している。「医療経営研究会」と「経営と医療のセミナー」を基本に、毎月1~2回開催。テーマも、業務に直結する内容から、「医療裁判例」「消費税など医療界

の課題を考えるもの、ビジネススキルを養う内容など多岐にわたる。2013年の全国大会開催地でもあることから、九州支部の研究会活動がますます活発化することが期待される。

会員ニーズに即した 研究会開催を目指す

会員のニーズに即した研究会を企画することが、各支部の大きな使命である。会員とともにつくりあげていく研究会を目指すために、一人でも多くの方の参加を望むとともに、会員のさまざまな声を企画に反映していくことが必要である。

2013年度、会員の皆さまにご協力いただきながら、各支部で切磋琢磨し、それぞれ特徴ある研究会を企画・運営していきたい。

日本医療経営実践協会地域支部 上半期(4~9月)研究会スケジュール(予定) 参加者募集中!! 詳細は各支部の事務局へお問い合わせください。

■関東支部	■関西支部	■北陸支部	■九州支部
4月17日(水) 医療経営士資格認定試験合格者の集い 2014年診療報酬改定にむけて 6月 医療経営人材養成講座① 7月 医療経営人材養成講座② 医療業界を学ぶ研究会① 8月 医療経営人材養成講座③ 医療経営士資格認定試験合格者の集い 9月 明日から始めるBCP入門①	4月20日(土) 梅原塾:財務会計の基礎勉強会③ 医療版BCP(後編) 5月18日(土) 梅原塾:財務会計の基礎勉強会④ 協賛セミナー:高齢者住宅開設セミナー 6月 梅原塾:財務会計の基礎勉強会⑤ 7月 梅原塾:財務会計の基礎勉強会⑥	4月25日(木) 【事件は現場で起きている!】 病床稼働率から見る現状:医療経営士が今やるべきことは? 5月 プレインストーミング 6月 医介共働/連携① 7月 視察旅行/待ち時間対策③ 8月 病院広報を科学する 9月 医介共働/連携②	4月20日(土) 医療経営研究会ブレイクスルー:医療経営に必要な決算書の読み方・活用法② 4月25日(木) 経営と医療のセミナー:25年度の医療の動き~激動の時代を先読みする~ 5月9日(木) 経営と医療のセミナー:病院内における物流システムの効率化~SPD導入経験を踏まえて~ 5月22日(水) 医療経営研究会ブレイクスルー:金融機関から見た医療経営 5月23日(木) 経営と医療のセミナー:医の眼・法の眼2~医療裁判例を読み解く~ 6月6日(木) 経営と医療のセミナー:激動の時代における病院経営のBalanced Scorecard導入(再確認) 6月20日(木) 経営と医療のセミナー:ケースで考える病院の経営分析(中級編) 7月4日(木) 経営と医療のセミナー:医療機関の消費税について 7月12日(金) 経営と医療のセミナー:病院形態に応じた経営戦略 8月9日(金) 経営と医療のセミナー:医療機関における経営課題抽出と解決のための手法について
申し込み・問い合わせ(事務局) TEL: 03-3256-2885 日本医療企画関東支社(担当:緑川)	申し込み・問い合わせ(事務局) TEL: 06-7660-1761 日本医療企画関西支社(担当:斉藤)	申し込み・問い合わせ(事務局) TEL: 076-231-7791 日本医療企画北信越支社(担当:江嶋)	申し込み・問い合わせ(事務局) TEL: 092-418-2828 日本医療企画九州支社(担当:杉安)

医療経営士2級の方々を中心とした報告・議論・講読の空間

医療経営士2級フォーラム21 Vol.7 『最新医療経営 フェイズ・スリー』塾 開講! 塾生募集中!!

開催日時	テーマ
第2回 5月16日(木)	「徹底討論! 超高齢社会の医療経営」(予定)
第3回 6月20日(木)	「第三者評価を活用し病院改革を推進しよう」(予定) *ゲストスピーカー参加あり
第4回 7月18日(木)	「部門別 安くて簡単ICT活用術」(予定) *ゲストスピーカー参加あり
第5回 9月19日(木)	「DPCデータは病院経営の『宝の山』」(予定) *ゲストスピーカー参加あり

*第1回「中小病院の戦略7のポイント」は終了

講義・講読:19:00~20:00
 食事・ディスカッション・質疑応答:20:00~20:50

講師	吉澤 理(株式会社日本医療企画「最新医療経営フェイズ・スリー」編集長)
場所	日本医療企画5階セミナールーム
定員	30人
受講料	医療経営士2級(本会会員):3,000円 医療経営士3級(本会会員):4,000円 医療経営士2級合格者(非会員):5,000円



第2回(5月16日開催)の教材『最新医療経営フェイズ・スリー』2013年5月号
特集 徹底討論! 超高齢社会の医療経営
 対談Ⅰ●地域医療のあり方を考える
 対談Ⅱ●急性期・慢性期病院の行く末を考える
 座談会●経営手法の活用で病院はどう変わる?
 まとめ●「地域医療」「病院機能」「経営手法」病院の近未来像を描く

法人正会員紹介 第6回 株式会社日医リース

高い専門性とコンサルティング能力を武器に
医療・福祉のトータル・サービスカンパニーを目指す

私たち日医リースは、医療・福祉の専門リース会社として全国に19拠点を構え、官公立病院、民間病院、開業医を中心に1万6,000以上のお客様とお取引をさせていただいています。

主な事業内容は医療関連機器のリースや割賦販売、事業資金の融資になりますが、毎年500件を超える開業のお手伝いもさせていただいています。今後も医療・福祉機関のサービス向上と経営の健全化のお役に立てるように、高い専門知識とコンサルティング能力を有した人材の育成に努め、ヘルスケアにかかわる“トータル・サービスカンパニー”を目指していきたくと考えています。

医療経営士の初級テキストを初めて手に取ったときはテーマが幅広く、勉強が大変そうだと感じました。その反面、お客様のニーズに合った提案やアドバイスをするために必要な知識が体系的に学べると思えました。病医院の院長や理事長といった経営層と商談する機会が多い営業スタッフにとって、医療経営に関する知識は必須です。医療経営士は弊社が求める人材育成の格好の材料になると判断し、全社を挙げて資格取得に取り組むことを決めました。初めは東京支店からチャレンジし、その後、各支店に資格取得を促していきました。

2月17日の第8回医療経営士3級資格認定試験では59人が受験し、43人が合格しました。すでに合格していた23人を加えると66人の3級資格合格者が誕生したことになります。当然、今後はより専門的な2級資格の取得を目指します。将来的にコンサルティング事業を推進したいと考えていますので、課長や支店長クラスは、ぜひ2級に合格してもらいたいですね。

試験対策としては、試験日の3カ月前から週1回定期的に1時間から1時間半程度の社内勉強会を開いています。全8巻の初級テキストそれぞれに担当者を割り振り、担当者が講師になって重要ポイントの解説を行い、その後、講師自らが作成したオリジナルの予想問題を全員で解きます。正確な内容を理解しなければ他人に教えることはできません。そのため担当者は与えられたテキストを何度も熟読し、知識習得に励みます。時事問題対策としては『最新医療経営フェイズ・スリー』や『クリニックばんぼう』（ともに日本医療企画）を毎月購読し、最新トピックスを整理しました。全受験者の合格率が31.9%だった第8回3級試験で70%を超える合格率を出せたのは、こうした取り組みが実を結んだ結果だと考えています。

資格取得に向けて自ら率先して医療経営を学

【企業データ】

株式会社日医リース

【住所】東京都品川区西五反田1-3-8

【設立】1970年

【従業員数】132人

【事業内容】医療・福祉機関向けリース・割賦販売・融資等

【URL】http://www.nichi-lease.com/

ぶことで、これまでうろ覚えだった知識が整理され、お客様と一歩踏み込んだコミュニケーションがとれるようになりました。偶然、営業先の医療機関に医療経営士が在籍していて、意気投合し話が盛り上がるようなこともあります。かつての病院は黙っていても自然に患者さんが集まりましたが、今は患者さんが病院を選ぶ時代です。医療の質が問われるなかで、医療経営士が活躍する場は今後ますます広がっていくことでしょう。

日本医療経営実践協会には、医療経営士の実践力と認知度をさらに向上させていくために全国各地に支部を増やし、医療経営士が研究会に参加しやすいような体制づくりをお願いしたい



取締役営業推進部長 斎藤 健氏

と思います。私たちは法人会員として支部活動を全面的にバックアップしていきたい——。そうすることが、医療界の発展にもつながっていくと確信しています。

よこた・やすひろ

1982年生まれ。2005年、法政大学工学部卒業。NECソフト株式会社で流通系SE、株式会社インテリジェンスで採用支援事業部に勤務後、09年に医療系職業紹介会社を起業。10年、こひつじグループに入職し、11年3月に医療経営士3級に合格。

医療事務では実力をはかる資格がないと思っていたときに、この資格を教えてもらいました。テキストを見ると、まさに自分が求めている内容で、自分の立ち位置を確かめたいと思いましたが、試験で勉強したことは現場で活かされています。今年グループに加わった病院を訪問した際、平均在院日数や病床稼働率といった経営状況を確認する手法がスラスラと出てきて、自分でも驚きました。連携室がなく、MSWがいなかったり、退院調整や地域の医療機関と

医療経営士は今年で創業18年、グループ全体で900人を超える職員がいます。まだまだ成長期であり、そのための強い組織、基盤づくりをしていかなければなりません。人事担当として、これまで研修制度や福利厚生（充実などに取り組んできましたが、CS（顧客満足度）向上のためにも、まずはES（従業員満足度）をより一層上げていくのが自分の使命だと思います。組織体制を今より強固なものにしていくためにも、医療・福祉業界を盛り上げたい、社会貢献をしたいと真剣に考えている人に仲間として加わってほしいですね。

経営企画室での仕事内容を教えてください。こひつじグループでは、11病院とオープン間近の2医院、7在宅介護事業所、4特別養護老人ホームのほか、健康づくりの観点からフィットネスクラブの運営も手がけています。一貫して医療・福祉サービスをメインに事業展開していますが、私は主に採用担当として事業に携わっています。いかによい人材を獲得するかは、どの企業でも課題となっていますし、人材はグループの「ブランドづくり」にもつながると考えています。そのほか、ICT委員会の委員として、グループ内情報のシステム化にもかかわっています。当グループはさまざまな事業形態の集合体で、サテライト展開をしています。情報が共有しにくく、人事面でもすべてを把握することが難しいため、システムづくりが重要になります。資格取得のきっかけは何ですか。取得してどう変わりましたか。

もう一つ、医療経営士の資格を取ってよかったと思うのが、研究会に参加できることです。同じ課題や悩みを抱えていたり、自分とは違う視点を持っていたり、学びの機会がたくさんあります。見聞を広められるだけでなく、医療界における人脈の構築など、自分の財産になっていますね。人事的な面からいうと、医療界にいる人には医療経営士を目指してほしい。組織内でのキャリア構築の1つの指標となるのではないかと思います。競争が激しい昨今、医療を支える事務職の方は特に自分で問題を見つけて解決する力をつけていかなければならないと思います。そのためには、医療経営士の資格は有効です。今後取り組んでいきたいこと、抱負などがあれば教えてください。

Relay Interview

「医療経営士」が、資格取得を目指したきっかけ、所属先での課題やミッション、資格取得を通じてどう職務に活かしているかなど、リレー形式で全国の「医療経営士」の声を届けます。

「医療経営士」リレーインタビュー

第6回

こひつじグループ経営企画室 人事部

横田 泰洋氏
医療経営士3級



医療経営を学ぶことで全体が見え、人事担当としての仕事にもつながる

の連携がうまくとれていない状況だったため、2月に人員を配置しました。人事担当といえども経営全体が見えることが必要で、医療経営士はそのための大事な資格だと実感できました。

医療経営士のための
News & Topics

●政府・自民党

TPP交渉参加で
国民皆保険はどうなる?

安倍晋三首相は3月15日、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)交渉への参加を表

▶▶▶ 協会事務局からのお知らせ

6月試験のエントリー受付開始!
2級フォーラムの参加者も募集中です

春一番を迎え、草木の緑が鮮やかな季節となりましたが、医療経営士の皆様はいかがお過ごしでしょうか? 今月から毎月、日本医療経営実践協会の事務局より、協会の活動についてこの紙面を通じてお伝えしてまいります。

さて、まずは新年度最初の試験実施のご案内から。来る6月16日、第9回「医療経営士3級」と第5回「医療経営士2級」の資格認定試験が実施されます。申込期間は、いずれも4月3日から5月2日までとなっており、2級試験の受験にあたっては、4月26日までに当協会へ入会手続きを行っていただく必要がございます。お手続きがお済みでない方は、至急お手続きをお願いいたします。なお、2012年10月21日以前の資格認定試験に合格し、まだ入会されていない方は、5月31日までに入会手続きを行っていただきませんと、当協会への入会・登録資格条件が失効してしまいますのでお気をつけください。

6月の試験からは、受験料のお支払いにクレジットカードとコンビニエンスストアの受付番号方式が新たにご利用いただけるようになりました。これにより、従来のコンビニ振込票方式、ゆうちょ銀行からの振込と合わせて、計4種類の支払い方式から選んでいただけるようになり、利便性がアップしました。

また、本号の1面にもごさいますとおり、いよいよ1級試験が実施される運びとなりました。この1級試験の実施により、「医療経営士資格認定試験」制度のキャリアステージがようやく完成し、より有意義な試験制度となることは間違いありません。1級の資格認定にあたっては、相応のハードルがありますが、医療関係者の皆様には、ぜひともチャレンジしていただきたいと思っております。

最後に、医療経営士の皆様を対象としたフォーラムのご案内です。「医療経営士2級フォーラム21 Vol.7『最新医療経営 フェイズ・スリー』塾」と題して行われるこのフォーラムは、4月18日から9月19日まで全5回で構成されます。月刊『最新医療経営フェイズ・スリー』(日本医療企画)を毎回テキストとして使用し、その中から最も話題のテーマをピックアップして、同誌編集長が解説を行います。本塾では、塾生がそれぞれテーマを議論し、自身の抱える諸問題・課題等の解決に取り組むことができる場の構築を目指していきます。1回のみのお受講も歓迎いたしますので、ぜひご参加ください。

当協会も新年度を迎え、試験やフォーラム、その他さまざまな活動が目白押しです。活動の詳細は、当協会のホームページをご覧ください。それではまた次号でお会いしましょう。

明した。そもそも日本医師会(横倉義武会長)をはじめとする医療系の団体は、TPPへの参加は国民皆保険制度崩壊につながるとして反対の論陣を張ってきた。日本医師会はいくつかの声明のなかで、①薬価や医療技術(知的財産分野)、②私的医療保険の拡大(金融サービス分野)、③株式会社(医療)への参入(投資分野)——が交渉

で議論の対象になった場合、国民皆保険制度の崩壊につながるかと訴えている。国民皆保険制度下の公定価格により、国民一人ひとりに平等な医療を提供するという仕組みは、新自由主義的な市場開放政策であるTPPとは相入れない部分が多い。安倍首相は国会答弁で「国民皆保険制度は守る」としているが、その範囲については明言していない。

き継いでおり、TPP交渉参加は、まさにそうした政策の延長線上に位置づけられる。ここで問題なのは、小泉政権時代に医療費抑制政策が続き「医療崩壊」に導いたという現実だ。公的医療保険の範囲縮小や混合診療の拡大に踏み込むことにより、国民医療費を減らし、財政負担を軽減させようとする可能性が懸念されている。

(出典:『フェイズ・スリー』2013年5月号、日本医療企画)

●日本医療経営実践協会

加熱・加速する
医療経営士への関心

3月15日、ヘルスケア経営研究所(代表・萩原輝久氏)主催の「第194回ヘルスケア・マネジメント研究会」において、一般社団法人日本医療経営実践協会事務局による「医療経営士」に関する説明会が行われた。

出席者は、元『日経メディカル』編集長の盛宮喜氏とコンサルタントの荒関功氏(株式会社メディカルコンサルタンツ代表取締役)に加え、佐賀県や愛知県ほかから参加した医療機関の理事や事務長などである。

出席者からは、「なぜ今、医療経営士なのか?」といった資格誕生の経緯にかかわるものから、テキストの体系や研究会(研修体制)の内容、資格に対する評価まで、さまざまな角度から「医療経営士」への関心の高さをうかが

かわせる熱心な質問が相次いだ。

2月17日に行われた第8回「医療経営士3級」資格認定試験を経て、3級合格者は2000人を突破し、2級を含めれば、会員数は9000人を超えている(4月8日現在)。

第8回3級試験では受験者は853人(申込者は914人)を数え、受験エントリーが開始された6月の第9回3級試験、第5回2級試験ともそれぞれ前回のエントリー時をはるかに上回るペースでエントリー者数が急増している状況だ。「医療経営士」に対する業界内外における関心の注目の高さを示す1つの証拠といえよう。



ルポール麹町(東京都千代田区平河町)において開催された「第194回ヘルスケア・マネジメント研究会」

医療経営士のための実践テキストシリーズ最新刊 5月中旬発行!
医療経営士実践テキストシリーズ3 なるほど、なっとく医療経営 実践ポイント37
経営データの活用と金融機関との上手なつきあい方

【財務会計/資金調達】のポイントを、実務に即してわかりやすく解説!
数字やデータの本当の意味を理解すれば、経営会議で説得力ある提言ができる!
医療経営士2級合格に向けた強い味方! 『医療経営士 中級【一般講座】テキスト』 8巻「財務会計/資金調達(1)」, 9巻「財務会計/資金調達(2)」対応
著者: 長英一郎(東日本税理士法人副所長/医療経営士2級) ● 予価: 3,150円(税別) ● A5版/1色刷り/160ページ(予定)

【主な内容】
第1章 財務会計編 財務諸表、診療データの戦略的活用法
・財務会計ポイント1 財務諸表
経営会議で“使える”、財務諸表のつくり方
・財務会計ポイント2 入院診療データ
入院データを、経営戦略にどう使う?
・財務会計ポイント3 DPC入院収益
DPC入院収益は、機能評価係数IIを上げることがカギ
—ほか、財務会計ポイント20本収録



第2章 資金調達編 融資交渉を有利に進めるための金融基礎知識
・資金調達ポイント1 中小企業金融円滑化法(モトリアム法案)
中小企業金融円滑化法の終了により、リスケジュールが困難になる?
・資金調達ポイント2 福祉医療機構、銀行
自院の金融機関別融資残高シェアで、取引先銀行を決める
・資金調達ポイント3 金融機関の安定性
金融機関の安定性を知るためには、貸出金残高をみる
—ほか、資金調達ポイント17本収録
資料 1 キーワード解説/2 主要金融機関別 貸出金残高一覧

